



【筆者紹介】高橋貞三
・㈱アーゼロンシステム
コンサルタント代表取締役

・シンクタンク食品関連コンサル
協議会(FCC) 副会長

『新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の危機管理』

1. 新型 CoronaVirus(COVID-19) とは？

- ① 2019年暮中国武漢市で突如発生、拡散したが、中国政府は情報公開せず、翌年の春節(ゴールデンウィーク)で全世界に拡散した。
- ② 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)にはワクチン・治療薬がない。
- ③ 死亡率が高い(季節性インフルエンザは0.1%に対して COVID-19 は4.6%(0.5~10%)
- ④ 感染の仕方は「空気感染(飛沫核感染・塵埃感染)」・「飛沫感染」・「接触感染」・「母子感染」・「経皮感染」で、「食事感染」はない。
- ⑤ 「エアロゾル感染」とは？ 空気中に漂う微粒子(ほこり・花粉・霧)に病原体が含まれている。「飛沫感染」と「飛沫核感染」の総称で呼ばれている。

- ⑥ ワクチン・治療薬開発には2~3年かかる。それまで、既存の抗ウイルス薬と重症呼吸器不全の治療薬で対応。長期戦を覚悟する。
- ⑦ 世界保健機関(WHO)は2020年3月11日に「COVID-19 はパンデミック:pandemic(世界的な大流行)とみなせる」と表明。

2. 新型 CoronaVirus(COVID-19)に対する対応策(自衛策)は？

—政府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議発表—

- ① クラスター(患者集団)の早期発見・早期対応⇒情報開示の徹底。
- ② 患者の早期診断・重症者への集中治療と医療提供体制の確保⇒行政の速やかなる対応。
- ③ 市民の協力(外出の制限)と行動実践(石鹸・アルコールを使った丁寧な手洗いの奨励、マスクの着用、3密(密集・密接・密閉)の排除、・室内換気の励行)。
- ④ 「飛沫感染防止」には2m以上の距離をあける。「密集」、「密接」を避ける。
- ⑤ 「飛沫防止」にはマスク着用。
- ⑥ 「飛沫」は3時間程度、感染力があり、「密閉」空間を避けるため「室内換気」を励行する。
- ⑦ 自宅外のはすべてウイルスに汚染されている⇒「外出の制限(homestay)と大集積施設の封鎖」、「感染リスク防止」には石鹸・アルコールを使った丁寧な手洗いの奨励。

3. 食品現場での新型 CoronaVirus(COVID-19)危機管理対応の仕方は？

- ① 全従業員の体温チェックと健康チェック並びに従業員家族の健康チェック。
- ② ゾーニング単位で「ビニールシート隔離」と「アルコール消毒」の励行。
- ③ 外部よりの入荷物はすべて「アルコール消毒」の奨励。
- ④ 出荷物はすべて「アルコール消毒」の奨励。
- ⑤ 従業員のグループ分けと作業内容の見直し。